

評価日 2019年 9月 30日

| | | | |
|------|------------------|----------|----------|
| 団体名 | 文楽伝統芸能振興長野委員会作支部 | | |
| 事業名 | 文楽の世界に触れる | | |
| 対象経費 | 903,962円 | 支援金交付対象経 | 903,962円 |
| 支援金額 | 445,000円 | | |

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・内容 | <p>目的</p> <p>文楽に直接触れる機会を設け、日本の伝統文化への知識と理解を深めてもらい、課題解決を図りたい。そのために本事業では、下記の1の具体的な目的と2の波及的目的を掲げる。</p> <p>1.文楽に接する機会を教育現場や福祉施設で設け、地域の教育や文化的地域づくりに貢献する。</p> <p>2.伝統芸能に従事するプロフェッショナルな精神に触れ、自分が選んだ道を追求することの意義を感じてもらおう。特に文楽の人形遣いは一体を3人で動かすが、足遣いの修行が10年、左使いで15年という長く厳しい修行が必要となる。技芸員との直接的な交流で、子ども達自身が将来について考えるきっかけとなり、キャリア教育の一助となる。</p> |
| | <p>内容</p> <p>東京国立劇場・大阪国立文楽劇場で活躍するプロの技芸員を講師に迎え、学校で下記のような文楽の出前教室を行う。対象：小学校高学年以上(伝統芸能、近松門左衛門が教科書に登場する学年～)</p> <p>・文楽全体の解説(5分、『雅楽之助』という男性の人形を使った演目の実演(5分)、人形の仕組みや動きの解説(5分)、女性の人形を使った演目の実演(10分)、人形の体験(児童生徒が実際に人形を動かす体験、20~25分、質疑応答(5分)福祉施設では短い演目や人形の動きの実演を中心に、浄瑠璃など昔なじみのある音楽にも親しんでもらう。</p> |

| | |
|---------|--|
| 事業の活動実績 | <p>文楽体験教室</p> <p>開催日時・開催校：2019年8月29日(木) 10:25-11:30 佐久長聖中学校(中学1年生150名)</p> <p>内 容：三番叟の実演、人形の仕組みや動きの解説、生徒による人形操作の体験、伊達娘恋緋鹿子の実演、質疑応答等</p> |
| | <p>開催日時・開催校：2019年8月29日(木) 13:55-14:40 中込小学校(小学6年生70名)</p> <p>内 容：雅楽之介の実演、人形の仕組みや動きの解説、児童による人形操作の体験、伊達娘恋緋鹿子の実演、質疑応答等</p> |
| | <p>開催日時・開催校：2019年8月30日(金) 10:55-11:40 田口小学校(小学6年生45名)</p> <p>内 容：雅楽之介の実演、人形の仕組みや動きの解説、児童による人形操作の体験、伊達娘恋緋鹿子の実演、質疑応答等</p> |
| | <p>福祉施設慰問文楽公演</p> <p>開催日時・開催場所：2019年8月30日(金) 14:30-15:30 コスモ苑(施設利用者60名)</p> <p>内 容：雅楽之介の実演、施設利用者との交流(人形との写真撮影など)、人形解説、伊達娘恋緋鹿子の実演、質疑応答等</p> |
| | <p>文楽ワークショップ</p> <p>開催日時・会場：2019年8月30日(金) 18:00-19:00 佐久市創練センター(一般受講者50名、無料)</p> <p>内 容：三番叟の実演、人形の仕組み・動きの解説、伊達娘恋緋鹿子の実演、質疑応答等</p> |
| | |



| | |
|----------|--|
| 事業の成果・効果 | <p>小学校での文楽教室の成果・効果について 中込小学校や田口小学校では児童たちが全員、人形に触り、動かすことができたため、体感として古典芸能に親しみ、非常に文楽に興味をもってくれた。中込小学校ではちょうど6年生が近松門左衛門や江戸文化などを学んでいる時期と重なり、授業の補助的な役割も果たせた。田口小学校では児童から技芸員に対し積極的な質疑応答が交わされ、キャリア教育にもつながる活動が行えた実感している。(別紙参照)</p> <p>中学校での文楽教室の成果・効果について 佐久長聖中学校は文楽教室参加の生徒数について度々協議を重ねてきたが、こちらの要望とする人数よりも大幅な参加者数となったため、人形の操作を体験できる生徒数が一部に限られてしまったことが反省点として残った。しかしながら、多くの生徒に文楽を知ってもらい、ユネスコ無形文化遺産に認定されている古典芸能について学んでもらう機会になった。</p> <p>福祉施設での慰問文楽公演の成果・効果について コスモ苑では60名以上の施設利用者の方に喜んでもらうことができ、記念撮影などを通して、間近で人形を見てもらい、文化的な時間を過ごしていただけた。</p> <p>一般ワークショップの成果・効果について 佐久市創練センターで開催したワークショップは、佐久市民の一般の方を対象に募集を行い、50名以上の参加者に集まってもらうことができた。初めて文楽に触れるという人も多く、日本の古典芸能を知ってもらう機会になったと思う。文化的な地域づくりの一助になれたと感じている。</p> |
|----------|--|

| | | |
|------|----------------------------|---|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた | <p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>日程、実施回数、会場、事業内容、規模、予算など申請通りに実施することができた。</p> |
| | 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた | <p>1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>田口小学校や中込小学校、コスモ苑、一般ワークショップは期待した以上の反応を得ることができた。佐久長聖は人数が予定より多くなり、やや反応が薄かった。</p> |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について | <p>①ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> |
| | その他、評価すべき点等 | <p>小学校での文楽教室開催にあたっては、佐久市教育委員会から開催希望の学校を募集してもらい、手の上の中込小学校と田口小学校で実施した。開催校の決定もスムーズに行え、準備から当日の実施まで滞りなく行うことができた。一般向けワークショップも予定の定員を上回る参加者が集まり、大盛況のうちに開催することができた。このように実施箇所すべてで事業の計画から準備、実施までトラブルなく行うことができた。参加者からも好評をいただき、成果を感じている。</p> |

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

| | |
|---------|--|
| 今後の事業展開 | <p>来年以降も引き続き小中学校での文楽教室開催を中心事業として、開催校の増加を図り、多くの子ども達に伝統芸能に触れる機会を作っていきたい。また今年度同様にワークショップなどを開催する中で、準備段階から佐久市民の方たちにも協力を求め、本委員会の活動そのものへの協力者を増やし、地域としての文化的な活動として定着させていけるようにしたいと思う。3年後にはホールなどで本格的な文楽の演目の上演を行い、スムーズに集客できるような地場づくりを進め、文楽に触れた子ども達、市民の方への興味と理解をさらに深める機会も作っていきたいと考えている。</p> |
|---------|--|